

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

事業名	高規格ICアクセス 主要地方道新庄次 ^{しんじょうじ} 年 ^ね 子 ^こ 村 ^{むら} 山 ^{やま} 線 ^{せん} 村 ^{むら} 山 ^{やま} 北 ^{きた} IC ^{IC} 本 ^{もと} 飯 ^い 田 ^だ	事業区分	地方道	事業主体	山形県
起終点	自：山形県村山市本飯田 ^{やまがたけんむらやましもとい} 至：山形県村山市本飯田 ^{やまがたけんむらやましもとい}			延長	0.6km
事業概要					
<p>主要地方道新庄次^{しんじょうじ}年^ね子^こ村^{むら}山^{やま}線^{せん}は東北中央自動車道と村山市内を結ぶ路線であり、村山市内へのアクセス性向上、物流効率化、緊急搬送時間短縮、観光振興を目的とし、東北中央道に地域活性化ICとして村山北ICを整備するとともに、村山北ICと国道13号を結ぶアクセス道路として一体整備するものである。</p>					
H24年度事業化	都市計画決定なし	H24年度用地着手	H25年度工事着手		
全体事業費	9.0億円	事業進捗率	約68%	供用済延長	— km
計画交通量	2,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年	
	(残事業)	3.2/8.9億円 事業費：2.9/8.7億円 維持管理費：0.26/0.26億円	38/38億円 走行時間短縮便益：25/25億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：1.9/1.9億円	令和2年	
感度分析の結果					
<p>事業^{全体} 交通量：B/C=3.9~4.7(交通量±10%) 残^{事業} 交通量：B/C=10.8~13.3(交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=3.9~4.8(事業費±10%) 事業費：B/C=11.0~13.2(事業費±10%) 事業期間：B/C=4.2~4.3(事業費±20%) 事業期間：B/C=11.9~12.1(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>① 工業製品の流通支援 村山北IC付近に位置する金谷工業団地から関東方面への流通を支援する。</p> <p>② 観光支援 村山北IC周辺にある「そば街道」等、観光地へのアクセス向上により観光客数の増加が期待される。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・ H22年3月：「第3次山形県総合発展計画」策定 ・ H24年3月：「やまがた県土未来図」推進指針改定 ・ H31年3月：「山形県道路中期計画」策定 ・ 上記計画に位置づけられた施策や方針に基づき取り組む事業として推進している。 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
令和2年2月に国土交通省が東北中央自動車道（東根北～大石田村山間）の令和4年内開通を公表。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地進捗率100%、事業進捗率約68%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
早期の完成を目指し工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
他工事との工程調整による建設発生土の有効利用や、新技術・新工法の積極的な活用により、着実なコスト削減に努める。					

対応方針

事業継続

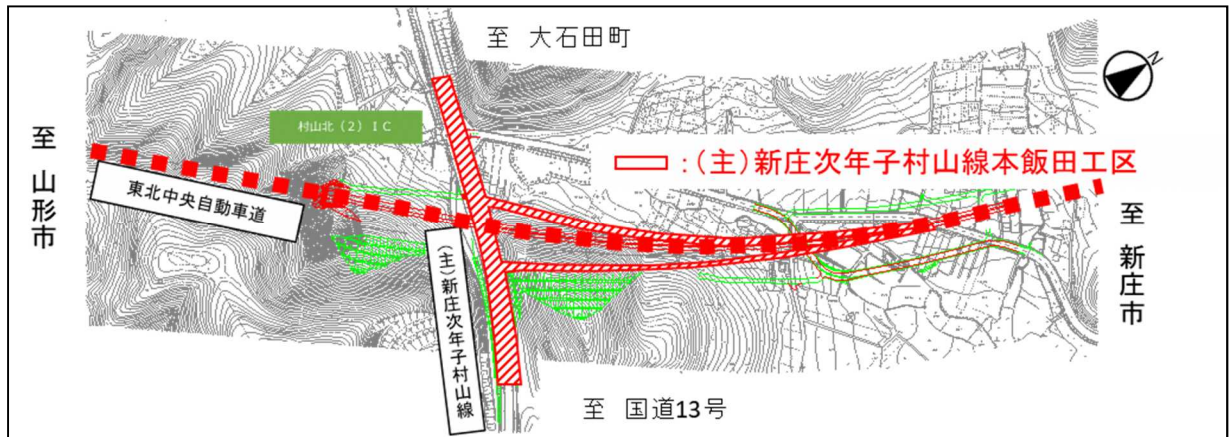
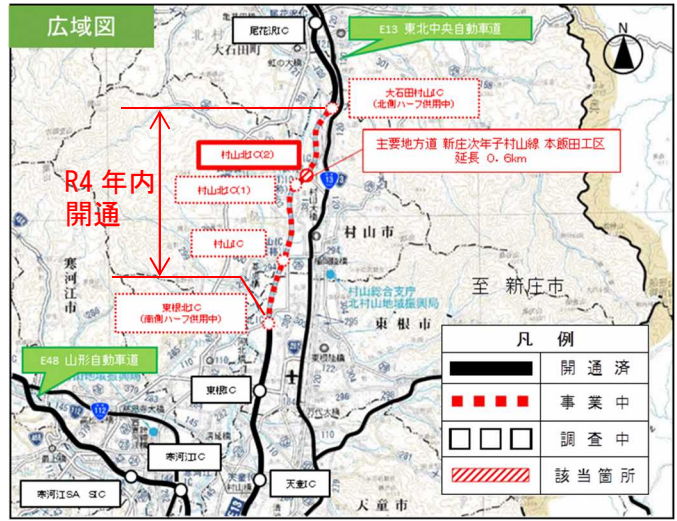
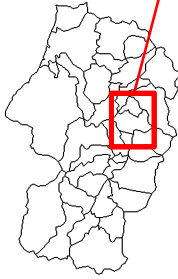
対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化無く、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図

山形県

事業箇所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。